

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度第11回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・地域独自の予算事業の一覧について（公開）

### 【自主的な審議】

- ・福島城に関することについて（公開）
- ・今後の自主的な審議について（公開）

## 3 開催日時

令和8年2月17日（火）午後6時30分から午後7時54分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員： 磯田会長、田中（美）副会長、古澤副会長、稲川委員、今川委員、  
笠原委員、鴨井委員、柴山委員、関澤委員、関谷委員、田中（実）委員、  
田中（由）委員、土肥委員、保坂委員、丸山委員、美濃口委員  
（欠席者1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、石崎係長、丸山主任

## 8 発言の内容

### 【内藤所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【磯田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：鴨井委員、田中（実）委員に依頼

議題【報告事項】地域独自の予算事業の一覧について、事務局へ報告を求める。

【石崎係長】

- ・資料No.1「令和8年度地域独自の予算事業 地域自治区別事業一覧表」に基づき説明

【磯田会長】

ただ今の説明に対し、質問等はあるか。

【笠原委員】

地域独自の予算事業に提案するには、いつ頃までに申請が必要か。

【石崎係長】

令和9年度事業の募集はまだ決まっていないので、令和8年度事業募集時のスケジュールでお話させていただく。

翌年度の予算に盛るためには、新規事業は8月末まで、継続している事業については9月末までに申請いただければ、予算要求にエントリーできる。

【笠原委員】

補助金額は事業費の何割か。

【石崎係長】

基本的には補助対象経費の10分の7が補助割合となっている。ただし、この事業の前身である地域活動支援事業から継続している事業に関しては、経過措置として10分の9が補助割合となっている。

【磯田会長】

補足すると、継続事業も当初は毎年度補助割合が減少となり、最終的には10分の7に統一するという話でスタートしたが、継続して活動していた団体の方たちが3割を負担することは困難だという話になり、今も継続事業は10分の9という形で残っている。

【古澤副会長】

令和8年度事業の中の「国の重要文化財大日如来坐像等の周知による地域元気事業」とはどのような事業なのか。また、直江津区の予算額が971万5,000円ということだが、ほかの地域と比べてどうか。言える範囲で教えていただきたい。

【石崎係長】

まず、ご質問の事業についてだが、五智の岩殿山の明静院に、大日如来坐像という国

の重要文化財がある。また周囲には上杉謙信公のお墓など観光資源もあるが、あまり人に知られていないということで、一昨年ぐらいから、講演会を開催したり、現地で座禅会や散策会など周知活動を行う団体があった。本事業はそういった周知活動や、現地に至る道が非常に狭くて、来訪者が進んでよいか迷う事案があったということで、案内看板を設置するなどの事業になっている。

全体に比べて直江津区はどうかというご質問だが、全体では190件の事業があり、一番多いところで17件、少ないところで2件であり、直江津区は全体の中では多いほうである。また、金額については15区の中では一番多く、全区の中では4番目という予算規模となっている。

参考までだが、今回の予算規模は最後の地域活動支援事業の予算規模の970万円を超えているところである。

#### 【磯田会長】

ほかに質問等を求めるがなし。

次に、【自主的な審議】福島城に関することについて、事務局へ説明を求める。

#### 【石崎係長】

- ・資料No.2「福島城に関する報告について」、参考資料「現況写真」に基づき説明  
会長、副会長から、補足や感想などがあれば願います。

#### 【古澤副会長】

佐渡汽船との話合いと、港町、市之町町内会長との話合いに出させていただいた。佐渡汽船へ相談に伺ったが、非常に協力的だった。歴史を大事にしているのではないかと感じた。港町と市之町の町内会長も、福島城の活動はおおよそ承知しているようであった。

両町内会長には、今、福島城を愛する会が行っている活動についてすぐさま何かをやってほしいというわけではなくて、愛する会から何か相談があったときは話を聞いてほしいということに対し、理解はある感じであった。

愛する会で今後、お金のかかる部分や、草刈りの人員などいろいろな部分が出てくると思うが、別途町内会に相談させてもらいながら進めていけばいいのではないかと思う。

地域協議会、町内会、佐渡汽船の三位一体の中で話が通じたのではないかと思っている。

### 【田中（美）副会長】

私は、町内会長との話合いのときだけの出席となったが、町内会長にお声掛けしてよかったと思った。今までは全く関わってこなくて、自分たちの地域だが、相談もないし他人ごとのような感じだったが、協力できることは相談をいただければ検討するというようなお話もいただいた。皆さんの地域のことなので、それができるようになったのはよかったと思った。しかし、そこに丸投げというわけにはいかないなので、協力をしていただきながら少しずつでも関心を持ってもらえればと思った。

### 【磯田会長】

佐渡汽船については、今報告があったとおり非常に協力的なスタンスで、こちらの要望を受け入れていただいた。

港湾事務所については、我々正副会長は同席せず、事務局から行政間で確認していただいた。資料にもあるように、展望室での物的展示は、今のところ難しいという感触だった。私としては、その部分をどうブレイクスルーしていくかも含めて、今後考えていかなければいけないのではないかという感触を持った。

まずは1階にジオラマ等を置き、5階のデジタルサイネージで情報を流すというところが、ファーストステップではないかと思う。

町内会の人たちに愛する会をフォローしてもらい、あるいはやっている事業をお願いするというわけにはいかないが、何らかの形で協力依頼や、やりたいことの相談は役員会を通じて協力の形をつくることはやぶさかではないということであった。

その辺も踏まえていただいて、この後ご意見をいただければと思っている。

### 【石崎係長】

今ほど会長からまとめていただいたとおり、ここまで確認した結果では、方策の一つとして、佐渡汽船ターミナルの1階にジオラマ等を置くことは可能であり、そこから5階の展望室に移動してデジタルサイネージの表示を見てもらうということは可能ではないかということが少し見えてきたところである。それを踏まえて、今後の設置に対しての動き等をご協議いただきたい。

### 【磯田会長】

福島城の自主的審議事項は、前の期からずっと引き続いて行ってきたが、なかなか結論が見えない、出口の見えない回廊にはまってしまったというような状態でずっときていた。一応ある程度の道筋を今年度つけるという意味で今動いてきており、一旦3月で

自主的審議事項としては閉じていきたいと思っている。

ただ、愛する会の活動をどのように支えていくかというところは、事務局が中心となって伴走をしていただくというような形の中で、またいろいろな場面で皆さんにご協力をいただいたり、一緒に考えていただいたりということが、スポット的に出てくると思っている。

その辺も含めて、今回の報告を踏まえて皆様方からいいアイデアや、こういうことをしてもいいのではないかと、あるいは佐渡汽船に最終的に置くとしても、その前に福島城を愛する会のお宝のことを、もう少し広める手だてがあるのではないかなどご意見をいただければありがたい。

#### 【美濃口委員】

福島城のこのお話を前回お伺いし、私なりに少し掘り下げてみたが、佐渡汽船から快いお返事をいただいているということであれば、今後の参考であるが、商業施設等に持ち回りで展示しながら、最終的に佐渡汽船ターミナルに設置するような形も面白いと考えていた。

エルマールの2階に無印良品があるが、エルマールに少しお聞きしてみるなど、何かできることがありそうだと感じている。

#### 【磯田会長】

実は美濃口委員から内々にそのような話を少しお聞きしていて、福島城を愛する会のお宝をこのまま佐渡汽船に持っていくのもいいが、もう一度あのお宝に日の目を当てるということが、我々の会の最初のミッションということであれば、人がより集まる場所で展示をしたり、限定でそういうことをしながら、最終地点を佐渡汽船のところにする。上の展望室も、今はデジタルサイネージしか駄目と言われているが、そういう機運が盛り上がっていき、重要性が県にも認識されていけば、あそこで展示をしていくことの意義を県にも理解してもらい、県が主体で置きたいと言ってもらえるような取り組み、動きをしていければと思っている。

#### 【土肥委員】

私も協議会委員になるまで福島城を知らなくて、文化行政課の方が来て話を聞いたときに、もういないのではないかと行ってしまった。その後、祇園祭に関わりがある等の話を聞き、やはり残さなければいけないものではないかと思った。

先日、寒ぶりまつりで私も佐渡汽船を使わせてもらったが、平日は余人がいない。

だから、美濃口委員が言っていたように、少しずつ、エルマールでいろいろな人に聞いてもらう、興味を持ってもらう、まず知らないところから知ってもらう。そこら辺のステップを踏んで、逆に文化行政課から残したいと言われるぐらい、いろいろなところで力をつけて「福島城ってすごいんだ。身近にそんなのがあるんだ。」というストーリーを見れば若い人たちも多分興味持つのではないか。

まず知ってもらうことが第一段階なので、まず佐渡汽船ターミナルに置いて、いろいろなところで知名度を上げていけたらいいのではないか。

#### 【鴨井委員】

いろいろな意見があって、すばらしいと思う。

やるにあたっては、一種のプロジェクトチームができそうな話だが、誰が音頭を取るのが大事だと思う。愛する会が音頭を取っていくという形になるのか、そこをしっかりとしないと、何も進んでいかないと思う。

#### 【磯田会長】

確かに、その部分は一番ネックではあるが、前々からこの場でもお話しているように、愛する会さんが主体的に企画していろいろ実施していける体力はないということは皆さん既に認識されていると思う。ある程度、伴走してくれるような団体などが寄り添っていかないとなかなか難しい。その伴走は、町内会では今の感覚では無理だろうということを考えれば、この福島城のお宝について、強い思いがある方や地域協議会の中での有志、あるいは近くに福島城のことについて、引き受けてもいいというような団体さんがいらっしゃれば、そういうところと協力していきながらということになると思う。

以前お話したように、そういう伴走型のことができるような、RMO的な組織を立ち上げたほうがいいのではないかとはいっているが、いきなりそこまで一足飛びにはいかないということもあり、今後、どのような形で支えていくか熟議していかないとはいけないと思う。個人的には、自分の団体もサポートとして回っていきたいと考えている。

ほかに意見、協力するという人はいるか。

#### 【笠原委員】

以前Amazonで福島城の本を買ったら、福島県の福島城の本だった。私は、三城物語もテキストを読み込んだ派なので、とても興味があり、これはやはり残していきたいというところで、先ほど鴨井委員も言われたとおり、誰が音頭を取るのがかというところは、確かにあると思っている。

周知に関しては、直江津小学校、南小学校、国府小学校も全部含めて、学校教育で総合学習的に提案するのはいいと思う。ライトシップさんは、地域活動もプラスアルファでやるというところもあるので、少しでも関わっていただければ、管理や移設などでお手伝いいただけるのではないかと思った。

#### 【磯田会長】

ライトシップさんは、来年度、売店で生徒たちが活動するという事なので、併せてお願いしていくということもあるとは思いますが、そこは向こうの教育の場の中でどう考えるかということもあると思うし、いろいろな人の、いろいろなチャンネルを総動員して、できる範囲で協力をいただいでいくほうがいいと思っている。

また、学校単位ではなく、直江津の中の小学校は、みんなこれを勉強するというような、地域学習の一つのピースにしていけないと続いていけないと思う。その辺も、CSのメンバーの人たちもたくさんいらっしゃるので、それに向かっていけばいいと個人的感想で申し訳ないが思っている。

#### 【保坂委員】

今、いろいろなご意見をいただいたが、すぐにはできないと思う。少し時間がかかると思うが、今旧古城小学校に置いてある展示物は、いつ頃まで置いていても大丈夫なのか。

#### 【磯田会長】

旧古城小学校をどう活用するかの話の中で、どけてくれという話が出てくる可能性はなくはないが、今のところそういう動きはないので、今のところいつまでという話はないところである。

ただ、愛する会の主要メンバー2人が、具合が悪くなったりしたときに、あれをどう処分するか、どうしていくかというのは、にっちもさっちもいかない状態になってしまうので、今がお宝をどのように整理していくかということの好機だと思っている。

その辺のやり方は考えなければいけないし、市の文化行政課や博物館の人たちに見ていただいたりしながら、市として展示できるような、正式なきちんとしたものではないが、観光という視点や歴史をきちんと伝える一つの必要なものとして展示に値する、あるいは民間レベルで展示に値するというような判断をしていただいて、幾つかを展示していくというような形を作ることができればと思っている。

事務局、何かあるか。

**【石崎係長】**

様々なご意見や、今後の活用の仕方などのお話があった。何かやるにしても、団体としての体力を心配される声もあった。

会長からも話があったが、協議会でこれだけの方針を出していただいた中で、北部まちづくりセンターは地域活動を支援する部署でもある。愛する会に寄り添うような形で、実際にどのような活動を支援してほしいのか等を聞き取って、町内会に相談してみたり、協力していただける団体がないか私どもであたらせていただいて、協力いただける団体の体力や方針に従って、今いただいたお話も踏まえて、どんなことができるか考えられればと思う。

**【古澤副会長】**

是非その方向でお願いしたい。3月に目途をつけてやるということで、佐渡汽船や町内会長等にあたってきて、一定の成果はあったと思う。

では、着地地点をどうするかということになると、今、事務局から話があったように、団体と話し合う中からやっていただくというような形で、側面的にやってもらえばいいと思う。事務局は大変だと思うが、私たちもいろいろな人脈的なものがあるので、協力は惜しまない。

**【磯田会長】**

まずは事務局から寄り添っていただいて、いろいろな団体とつなげていただいたりしながら、我々に協力をお願いしたい場面が出てきたら、この場で報告していただければと思う。

それでよいか。

(委員同意)

それでは次に移る。

議題【自主的な審議】今後の自主的な審議について、事務局へ説明を求める。

**【石崎係長】**

- ・資料No.3「自主的な審議の状況について」に基づき説明

**【磯田会長】**

資料No.3については、自主的審議として残っている4項目の状況を整理していただいた。この4つを決めたときから既に1年が経過し、新しいメンバーも入ってきている。今後の意見交換については、こういうことを自主的審議として議論したい、あるいは7

年度が始まる時に思っていたこと、自主的審議の新しい項目として一緒に考えてほしいことなど、資料にある3つプラスアルファということで、ご意見、ご提案をいただきたい。

#### 【関澤委員】

私は、五智公園を育てる会の顧問をやっており、五智歴史の里協議会の会長にもこれから就任する。隣の柴山委員が、五智の町内会長協議会の会長ということで、この2人が五智を牛耳っている。

先般、五智公園の話が出たときに、育てる会の会長と少し話をしたところ、協議会で話を聞きたいということであれば、是非話をさせてほしいということだった。4月には総会があるので、その場で再度話をしてもいいと思っている。

五智全体ということになると、問題が相当山積みしており、一概にどうこうというわけにもいかないなので、徐々に、一つ一つ問題を詰めていきたいと考えている。

#### 【田中（由）委員】

私は稲川委員と一緒に五智公園を育てる会に参加させてもらったが、もっともっと五智公園を多くの人に知ってもらいたいと思ったし、とても重要な公園だが、高田城址公園のほうが大々的で、桜も有名なので、一般的には、皆さんあちらのほうに興味がいってしまうと思う。

五智公園を愛する会は、上越タイムスに植物や鳥などの写真を載せたり、小冊子を作成して設置したりしている。小冊子は好評で増刷している状況でもあるので、皆さんにもっともっと興味を持っていただけたらと思う。

#### 【磯田会長】

今、関澤委員、田中（由）委員から、育てる会の活動等について話をお聞きした。関澤委員からは、五智公園を育てる会の会長にお話をしたところ、乗り気だということである。以前も、育てる会の会長に来ていただき、お話をさせていただいている。

提案だが、五智の話に特化をしていきながら、まずは、協議会でもう一度話をお聞きする。そして、五智の人たちに集まっていただくような場面を作って、意見交換をしたり、どのような悩みがあるのか、どういうふうにしたいのかなどを聞いていくというのはいかがか。

#### 【稲川委員】

先ほど田中（由）委員から話があったとおり、五智公園は高田城址公園と並ぶほど、

五智公園を育てる会の方々が中心となって、環境保全に目をかけているところである。

五智地区全体としては、五智公園もあるが、神社仏閣が本当に素晴らしい地域である。それは皆さんご存じだと思うが、それがだんだん廃れていっているということが私は悲しい。

是非観光名所として、五智全体、直江津も神社仏閣がたくさんあるので、直江津区のエリアが、もっともっと先代の人たちを誇らしいと言える上越になってほしい、それが切なる思いである。

五智地区の方々からお話を聞くことはいいことだと思うが、だんだん慣れてくると、皆さんもういいというお話でもあるかもしれない。老若男女、たくさんの方々から、アンケートを取るなりすると、もっともっと五智の人たちも、重い腰を上げてくれるのではないかと期待している。

#### 【磯田会長】

今、神社仏閣という視点で新たな問題が出てきた。育てる会の自然の保護や、自生している植物だけではなくて、五智の歴史や交通公園も含めた若い世代の人たちの誘客や活用も含めて、五智は非常に魅力的なものがたくさんあるがいかしきれていない。どこもそうだとわれればそうだが、注力のしがいもあるところだと思う。新たにいろいろな人のアイデアや意見、まずはそこから始めていきながら、一緒に考えましょうというような形で取り組みたいと思う。

ほかに意見を求めるがなし。

とりあえず、五智公園を育てる会の会長にもう一度来ていただいて、現状や悩み、五智公園を育てる会に寄り添うというような話になるのか、五智地区の方々が、会費も含めて支援していて、活動母体もまだしっかりされていると私は認識しているが、そういう中で、どうしていきたいのか、そういったことをもう一度お聞きしたり、地域の子育て世代や学生も含めて、意見をいただいていくような仕掛けをしたいということで、今日のご意見のまとめにしたいと思う。そのような方向で考えていくということでよいか。

(委員同意)

ほかに、三八朝市、防災、議論したいテーマがあれば、ご意見をいただきたい。

#### 【田中（美）副会長】

今ほど、皆さんからも会長からもお話が出ていたRMOについて、自主的審議になるのか、どのような形になるのかはわからないが、いろいろな問題がある中で、誰かしら

が行動できる実行部隊があつたらいいのではないか。

私は、RMOの講演会になかなか出られなかったのも、その話をまた皆さんにもしていただいて、勉強してきた中から何かができることがないのかと常々思っている。有志になるのか、どのような形になるのかわからないが、何らかの形で自主的審議のようにできたらどうかと思った。

#### 【磯田会長】

皆さん、RMOをご存じか。今日配られたチラシの一番上に、「持続可能なまちづくりに向けた地域運営組織のあり方」というタイトルのチラシがある。

地域協議会が、地域の課題を拾い上げて、解決に結びつけていく議論をする場だとすれば、地域運営組織は、より実践的な主体として活動していく運動団体、地域の課題を解決する提案のもとに、具体的な活動を計画していく団体ということである。

地域協議会に入って、地域協議会で何か活動ができると思って入ってこられる方や、自分がこれをしたいということで応募されて、この場にいらっしゃる方も何人かいらっしゃると思うが、協議会の議論が、議論のための議論のような形になってしまうのはもったいないし、それを実際に動かしていくことをしていかないと良くなっていかないと。というような中で、このような勉強会を、今上越市では5回やっている。4回終わり、5回目が3月14日の午前中に、学びの交流館で開催されるので、ぜひ皆さんには、これに出ただけければと思う。

そういう活動について、勉強してはどうかということを以前提案していた。田中（美）副会長の提案は、そういう勉強会をしたらどうかというようなことだと思う。

RMOの勉強会に出たことある方はおられるか。

#### 【丸山委員】

3回のうち2回出席した。今まで知らなかったことも多々あり、刺激になった部分もあれば、そうではなかった部分もある。勉強することはいいことだと思うので、何回かの中で、1回勉強してもいいと思う。

#### 【磯田会長】

これがそのまま自主的審議事項になるかは、私の感覚ではフェーズが少し違うと思う。勉強会は勉強会として、まずは、違うステージでやることもいいと思う。

上越市のこの5回が終わった後、地域協議会を所管している地域政策課がどのようにこれを推し進めていくのか、一度地域政策課から来ていただいて話を聞くのもいいと思

っている。年度が変わって、新たなところで議論していければと思っている。

#### 【保坂委員】

来年度の話が出てきたが、五智公園、三八朝市、防災に関することとあるが、またこれを一緒にやっていくとなると、ひと月に1回しか集まらないので、できれば、福島城のように、一気に1つのことをやって、ある程度目途がいたら次のことを協議するようなやり方がいいと思う。

#### 【磯田会長】

今、保坂委員から、1つのことに集中して深掘りして、ある程度のところまで方向性を出していったから、次の議題に移っていくとよいのではという提案があった。

それについて、意見はあるか。

#### 【関谷委員】

防災に関するところで少しお話をさせていただきたい。

昨年、こちらに防災士会直江津支部を呼んでいただいて、意見交換をさせていただいたので、少しは活動を知っていただけたのではないかとと思っている。

そのときにお話させていただいた内容で、防災士会として何かできることがあるのであれば、各町内会さんへ出向いて、いくらでも啓発活動等をさせていただくというお話をさせていただいた。

自主防災組織によって、活動に温度差があるというところは、こちらが出向いて行って、いろいろ話をさせていただくことで、そういった温度差は、だんだん解消されていくものではないかと考えているので、あまりここを協議会で深く考えなくてもいいのではないかとと思っている。各町内に防災士がおられるので、直江津防災士会としては、もっと活動をしっかりとするようにと話を持っていきたいと思っている。

今後は、各町内から何か防災士会に聞いてみたいというようなことがあれば、いくらでも出向いて行ってお話を聞かせていただくので、この件に関しては、一旦これで終わってもいいのではないかと私は考えている。

#### 【磯田会長】

今出ている自主的審議、3つの項目の中の防災に関することは、今まで市や防災士会と意見交換をする中で、市や防災士会がやられていることも確認しているし、そこに地域協議会がコミットしていく必然性も、今のところないというのが現状だと思う。

今、関谷委員が言われたように、防災に関することについての自主的審議は終了とい

うことで皆さんご了解いただけるか。

(委員了解)

三八朝市に関することについては、私の所属する団体が、今年度独自予算を使わせていただいて2回マルシェを行った。出店の現状調査もさせてもらったが、そのまとめがまだできていない。3月末までにまとめて、報告書を提出する段取りになっている。その状況も踏まえて、どうしていくか議論していただければありがたいと思っている。次年度以降、どのタイミングになるか、地域協議会が積極的にコミットしていくかどうかというところも、その報告を聞いていただいて判断していただければと思う。

ここに残っている自主的審議事項としては、次にやるのは五智公園に関する事、五智エリアの活性化について議論をし、深めていくということが第一になると思う。ほかに、思いや意見があれば発表していただきたい。

まずはこの中では五智公園について議論していくということで、どこまで区切るかはまだ読めないところもあるので、まずは会の方から来ていただいてお話を聞く、どういう形でいろいろな人たちから意見を聞いていくか、ワークショップやるかなど、そういうことも含めて進めていきたいと思っている。

まずはこの審議の中で、五智について議論していくということでよいか。

(委員了解)

ほかに意見はあるか。

#### 【土肥委員】

福島城についても長くかかったもので、新たな問題を追加すると先が見えないので、とりあえず五智公園と決めたら五智公園にして、新たな議題はいらないと思う。私の意見だが、まずここをやるということでもいいと思う。

#### 【磯田会長】

ほかに意見を求めるがなし。

では、まずは五智公園で進めていくということでよいか。

(委員同意)

#### 【石崎係長】

今ほど関谷委員から発言があり、会長から取りまとめていただいたとおり、防災に関する自主的審議事項は本日をもって審議終了という形にさせていただく。

終了にしても、自主的な審議はいつ何を審議いただいても結構なので、例えば災害が

あったときなど、また防災について議題に挙げていただければと思う。

**【磯田会長】**

その他に移る。

事務局何かあるか。

**【石崎係長】**

- ・次回協議会：3月11日（水）午後6時30分から

**【磯田会長】**

ほかに意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TE エルメール 25-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。